

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年8月13日(2009.8.13)

【公表番号】特表2009-513249(P2009-513249A)

【公表日】平成21年4月2日(2009.4.2)

【年通号数】公開・登録公報2009-013

【出願番号】特願2008-537765(P2008-537765)

【国際特許分類】

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

A 6 1 B 1/24 (2006.01)

G 0 1 N 21/64 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/00 3 0 0 D

A 6 1 B 1/24

G 0 1 N 21/64 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月26日(2009.6.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

歯組織の画像を取得する方法であって、

(a) 入射光を歯に当て、前記入射光で前記歯組織からの蛍光の発生を励起するステップと、

(b) 前記発生された蛍光から蛍光画像データを取得するステップと、

(c) 後方散乱光から、前記歯組織からの後方散乱反射率画像データを取得するステップと、

(d) 前記蛍光および後方散乱反射率画像データを複合させて、前記歯組織の改善された画像を生成するステップと、

を含むことを特徴とする方法。

【請求項2】

歯の画像を取得する方法であって、

(a) 前記歯に第一の分光領域を有する第一の入射光を当て、前記入射光により前記歯から前記第一の分光領域の外の波長を有する蛍光を発生させるステップと、

(b) 前記発生された蛍光から蛍光画像データを取得するステップと、

(c) 前記歯に、前記第一の分光領域と同じでない第二の分光領域を有する第二の入射光を当てるステップと、

(d) 前記第二の分光領域の後方散乱光から、前記歯からの後方散乱反射率画像データを取得するステップと、

(e) 前記蛍光および後方散乱反射率画像データを複合させて、前記歯の前記画像を生成するステップと、

を含むことを特徴とする方法。

【請求項3】

歯の画像を取得する装置であって、

(a) 第一の波長領域で前記歯に入射光を当て、前記入射光で前記歯の、前記第一の波

長領域外の波長を有する蛍光応答を励起する光源と、

(b) 前記歯に第一の偏光状態を有する前記光源からの入射光を当て、第二の偏光状態を有する前記歯からの画像担持光をカメラに当てて、蛍光画像と反射率画像を取得するために設置され、前記第二の偏光状態が前記第一の偏光状態に直交するようにする偏光ビームスプリッタと、

(c) 前記カメラから得られた画像データを処理し、蛍光画像データと反射率画像データを複合させ、表示画像を生成するイメージプロセッサと、

(d) 前記得られた表示画像を表示するためのディスプレイと、
を備えることを特徴とする装置。